

第3回 日本漢字能力検定試験問題

(公財)日本漢字能力検定協会

〔不許複製〕

6級 (G)

答えには、「常用漢字表」にある漢字の字体、読みをすること。旧字体を使ってはいけない。

答えは別紙(答案用紙)に書くこと。

(一) 次の一線の漢字の読みをひらがなで書きなさい。
(20) 1×20

1 メジロが梅の枝でさえずる。

2 竹で編んだかごにみかんをもる。

3 山地や山脈の名前を地図帳で調べる。

4 すみきつた夜空に銀河がかがやく。

5 おじは駅前で書店を営んでいる。

6 バレエの国際コンクールが開かれる。

7 県大会まで余すところ三日だ。

8 日本は多くの食料品を輸入している。

9 遠方からの客を厚くもてなす。

10 電車に向けてカメラを構える。

11 学芸会で劇の道具係を務める。

12 自分の考えを順序立てて話す。

13 墓の前で手を合わせておがむ。

14 スケートのすばらしい演技に感動した。

15 火災の原因が明らかになった。

16 先生に宿題のプリントを提出する。

17 初めて来た街で道に迷う。

18 オリオン座は肉眼でよく見える。

19 買い物をすると消費税がかかる。

20 ねこに小判

(二) 次の一線のカタカナを○の中の漢字と送りがな(ひらがな)で書きなさい。
(10) 2×5

1 易 ヤサシイ 英会話を覚える。

2 増 海外からの観光客がフェル。

3 逆 人の流れにカラウ。

4 示 時計のはりが正午をシメス。

5 破 雨にぬれて紙ぶくろがヤブレル。

6 例 ポールをナゲル。 投げる

7 例 ボールを投げる

8 例 ボールを投げる

9 例 ボールを投げる

10 例 ボールを投げる

(三) 次の漢字の部首名と部首を書きなさい。部首名は、後の□から選んで記号で答えなさい。
(10) 1×10

1 妻 妻 (ア) [サ]

2 备 备 (一) [二]

3 然 然 (一) [二]

4 热 热 (一) [二]

5 破 破 (一) [二]

6 版 版 (一) [二]

7 肥 肥 (一) [二]

8 婦 婦 (一) [二]

9 耕 耕 (一) [二]

10 像 像 (一) [二]

(四) 次の漢字の太い画のところは筆順の何画目か、また総画数は何画か、算用数字(1、2、3….)で答えなさい。
(10) 2×5

1 版 (1) [2]

2 婦 (1) [2]

3 肥 (1) [2]

4 像 (1) [2]

5 耕 (1) [2]

6 婦 (1) [2]

7 肥 (1) [2]

8 像 (1) [2]

9 耕 (1) [2]

10 版 (1) [2]

(五) 漢字を二字組み合わせたじゅく語では、二つの漢字の間に意味の上で、次のような関係があります。ア 反対や対になる意味の字を組み合わせたもの。(例:上下)イ 同じような意味の字を組み合わせたもの。(例:森林)ウ 上の字が下の字の意味を説明(修飾)しているもの。(例:海水)エ 下の字から上の字へ返って読むと意味がよくわかるもの。(例:消火)ウ 上の字が下の字へ返って読むと意味がよくわかるもの。(例:海水)

ウ 上の字から上の字へ返って読むと意味がよくわかるもの。(例:海水)

ウ 上の字が下の字へ返って読むと意味がよくわかるもの。(例:海水)

問題「まいめ」

問題「2まいめ」

6級

(G)

(六) 次のカタカナを漢字になおし、一字だけ書きなさい。

1 低血アツ

2 力能性

3 招待ジヨウ

4 不サイ用

5 エイ久歎

7 無所ゾク

8 ホ護者

9 逆コウ果

6 複ザツ化
10 円周リツ

(20)
 2×10

(12)
 2×6

(八) 上の読みの漢字を□の中から選び、()にあてはめてじゅく語を作りなさい。答えは記号で書きなさい。

1 祭りのかがり火が赤々とモえる。
2 太いロープがつり橋をササえている。

3 高山の頂上はサンソンがうすい。

4 音楽家になるユメを持ち続ける。

5 弟は絵が入選してヨロコんでいる。

6 人工エイセイの打ち上げに成功する。

7 いちごはビタミンCがホウフな果物だ。

8 うがいをしてかぜのヨボウに努める。

9 二つの直方体の体積をクラべる。

10 庭の小さな池にうすい氷がハつた。

11 安全をタシかめて道路をわたる。

12 ビジュツ館でゴッホの油絵を見た。

13 雨だれの音がタヌ間なく聞こえる。

14 ベントウを持ってハイキングに行く。

15 先生が器楽合奏のシドウをする。

16 得点の機会がフタタびおとずれた。

17 くわしい説明をショウリヤクする。

18 川の两岸にていぼうをキズく。

19 理科室はコウシャの三階にある。

20 礼もスズれば無礼になる。

氏名

(七) 後の□の中のひらがなを漢字に

なおして、対義語(意味が反対や
対になることば)と、類義語(意味
がよくにたことば)を書きなさい。
□の中のひらがなは一度だけ使
い、漢字一字を書きなさい。

対義語

ア音と音	イ音と音
ウ訓と訓	エ訓と音

1 住居	2 桜色	3 大勢	4 客間	5 移民
じゅうきょ	さくらいろ	おおぜい	きゃくま	みん

(十) 次の一線のカタカナを漢字にな
おしなさい。

1 夜になつて商店街の人通りがへつた。

2 庭園に二百年をへた松がある。

3 台風の接近で游泳がキン止になる。

4 ケーキをキン等に切り分ける。

5 おじは内科の医シをしている。

6 パンダのシ育員になりたい。

7 早ね早起きの習力カンを身につける。

8 家族旅行で新カン線を利用した。

9 朝カンの社会面の記事を読む。

類義語

平常——(1)常
集合——(2)散
精神——物(3)
気体——(4)体
共同——单(5)

えき・かい・しつ・どく・ひ

転業——転(6)
中身——内(7)
回答——(8)答
生産——製(9)
決意——決(10)

おう・しょく・ぞう・だん・よう

——おわり——